

岡谷市湊沖の湖水の変色について

水産試験場諏訪支場

7/19 8:30 頃 水産試験場諏訪支場へ通報

7/19 9:00 頃～ 現地調査

①現地の状況

- ・釜口水門から岡谷市立南部中学校南側沖にかけて、湖水の色は褐色から褐色がかった緑色。赤味は感じられなかった。
- ・DO 測定と植物プランクトン観察用に表層水採取を実施。
- ・当日の風向きは、7時過ぎまで西から西北西、8時頃から昼にかけて北東から北。

②調査結果

・DO 測定結果 (別表)

褐色の部分では、3 m で 1.0mg/L と低め。

網生簀付近では、3 m で 3.2mg/L とやや低めであるが、2 m では 7.7mg/L であり、網生簀のコイにすぐに影響するレベルではない。

・植物プランクトン

優先種 藍藻：アナベナ（らせんタイプ）、ミクロキスティス（不定形タイプ）

その他 鞭毛藻類（ペリディニウム、クリプトモナス）

※植物プランクトンのサンプル（生の湖水）を信大・宮原先生のところへ持ち込み

⇒ 鞭毛藻類（ペリディニウム、クリプトモナス）を確認した旨の回答あり。

③聞き取り調査 10:30 頃から

- ・諏訪湖漁協組合が塚間川河口付近で作業中をしていたため聞き取り
「漁協から塚間川河口へ向かう途中、湖心を過ぎたあたりで航跡が褐色になった。赤っぽい感じはしなかった。ヒシ運搬船の操縦者も見ているようだ。」
- ・ヒシ刈り作業の運搬船の操縦者から聞き取り
「朝の運搬の時に、諏訪湖の真ん中あたりから西赤砂漁協の沖にかけて航跡が褐色になった。赤っぽい感じはしなかった。後は気にならなかった。」

④帰庁後通報者へ連絡

水試から：

- ・水の色が赤い状況は確認できなかった。岸に近い褐色の場所は DO 低め。
- ・網生簀付近も DO がやや低めであるがすぐにコイへの影響を心配するレベルではない。

通報者から

- ・水試へ連絡した後、再度諏訪湖を見たら赤い色は目立たなくなっていた。

※連絡があった「赤っぽい」状態は、鞭毛藻類の蝟集によるもので、軽度であったため風向きの変化等何らかの要因で解消した可能性が考えられる。

※※漁協やヒシ運搬船が観察した「褐色」は、表層下の珪藻が巻き上げられたもので、通報者が気にしていた「赤っぽい」状態とは別物と思われる。

7/21

9:00 現場調査

- ・岡谷市体育館沖から釜口水門にかけて褐色
- ・網生簀付近はわずかに褐色がかった緑色
- ・生簀付近の DO はほぼ平常値

※ 調査終了後、通報者へ結果連絡。

通報者から：昨日も赤っぽい感じがあったが今日は見られない。

DO測定結果

水深	7月19日		7月21日	
	南部中学校沖	網生簀	網生簀	湖心
0m	8.2	11.5	8.5	10.4
1m	4.0	9.3	8.5	10.2
2m	3.4	7.7	7.2	9.2
3m	1.0	3.2	4.2	7.1
4m		2.1	2.7	6.9
5m				4.6
底層	0.5	0.3	0.3	0.3
(測定深:m)	(3.2)	(4.8)	(4.8)	(5.6)